



今村 史明 整形外科部長

いまむら ふみあき
1992年、兵庫医科大学卒業。川崎病院整形外科部長を経て、2016年から大阪みなと中央病院整形外科部長。日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本リウマチ学会認定リウマチ専門医。中部日本整形外科学会評議員



小倉 宏之 整形外科部長

おくら ひろゆき
1997年、兵庫医科大学卒業。兵庫医科大学ささやま医療センターを経て2016年から大阪みなと中央病院整形外科部長。日本整形外科学会認定整形外科専門医、骨質研究会世話人



井石 琢也 整形外科医師

いせき たくや
2010年、兵庫医科大学卒業。兵庫医科大学の関連病院である川崎病院、合志病院を経て、2016年から大阪みなと中央病院勤務

最新のナビゲーションシステムで高度な人工関節置換術を行い 整形外科スペシャリストが患者さんがより楽になる治療を追求

ナビゲーションシステムで 正確な人工関節置換術を実現

「患者さんに対しては、自分の家族や親戚に接するのと同じような気持ちで、その方に適した治療をいかにしてできるかを妥協することなく常に考えていきたい」といいます」と大阪みなと中央病院の今村史明整形外科部長は話す。整形外科で目指しているのは、患者さんがより楽になる治療の追求である。

小倉宏之整形外科部長も、「患者さんの不安をすべて取り除き、最後は笑顔で診察室から送り出してあげたいですね」と言葉を続ける。

同院では、整形外科スペシャリスト

による人工関節置換術に定評があり、コンピューターナビゲーションシステムで実績を積み重ねている。「ナビゲーションシステムでは、骨切りはもちろん、人工関節の設置をより正確に行うことができ、痛みや日常生活の制限を二層軽減することが可能になります」と今村整形外科部長。

膝関節については、最新のポータブルナビゲーションシステムを活用して症例実績を上げ、また、膝の片側部分のみが損傷している場合は、単関節式置換術を選択するなど、患者さん一人ひとりに適切に対応できる高度な手術を行っている。

人工関節置換術後の痛みについては、関節内カクテルブロックを行う。

「耐えがたい痛みも、関節の中に痛み止め薬を直接入れることで解消できます。神経ブロックの場合、神経に障害が出る恐れがありました。関節内カクテルブロックはそうしたリスクも心配いりません。手術はもちろん、痛みやリハビリをはじめとする術後の管理も全力を尽くして行っています」と井石琢也整形外科医師は強調する。

骨粗鬆症の治療に力を入れ 脊椎外科及び関節リウマチの 先端治療も行う

同院では、骨粗鬆症の治療にも力を入れている。「骨の状態が悪い方は人工関節にも問題が出るのが少なくありません。患者さんには普段から



1 MR1核磁気共鳴画像法)やCT(コンピュータ断層撮影法)などの先端機器に力を入れた診断を行う。
2 理学療法士10人によりリハビリテーションを行う。2000年から在宅でのホームリハビリも手がけている

骨年齢を確認してもらうことが大切で、その啓蒙・啓発も含めて、今後、港区での講演などにも積極的に取り組んでいきます」と小倉整形外科部長。

同院の整形外科は、人工関節だけでなく、脊椎外科の治療も強化している。「米国で最新術式を学んだ医師が脊椎外科の先端治療で実績を上げています。また、私はリウマチ専門医でもあり、リウマチの先端治療も行っておりますので何か悩みがあれば、お気軽にご相談ください」と今村整形外科部長は語った。



大阪みなと中央病院

大阪府大阪市港区築港 1-8-30
(TEL) 06-6572-5721

〈診療科目〉 整形外科、循環器内科、
胃腸内科、代謝・内分泌内科、
呼吸器内科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、
形成外科、皮膚科、外科、
乳腺・甲状腺外科、泌尿器科、
リハビリテーション科、放射線科、
麻酔科(久利酒薬)

〈受付時間〉 月～金 8:30～11:30

〈休診日〉 土、日、祝

http://minato.jcho.go.jp/